

平成 30 年度当初予算

一般会計 248 億 7400 万円

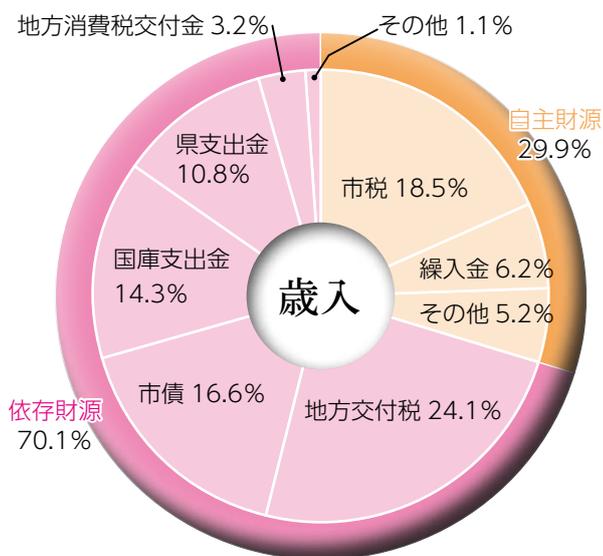
市民目線に立った、オンリーワンの島原市の実現を目指して

平成 30 年度当初予算が決まりました。予算編成に当たっては、平成 32 年 1 月からの業務開始に向けて継続事業で取り組んでいる新庁舎整備事業をはじめ、本市の喫緊の課題である人口減少や地方創生に対応するために、「移住・定住・婚活」に重点を置いた内容としています。

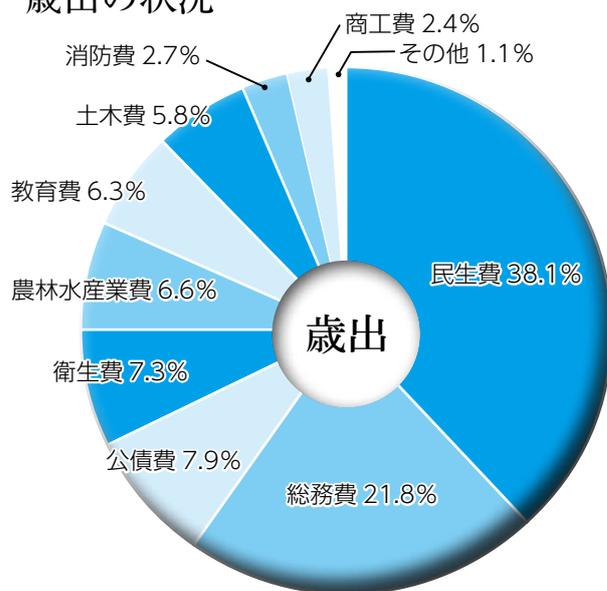
- ①市民目線に立った行財政改革の推進
- ②産業の振興と島原地域ブランドの確立
- ③歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大
- ④子育てにやさしいまちづくり
- ⑤高齢者や障害者などを思いやる福祉の充実
- ⑥島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実
- ⑦安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

平成 30 年度 一般会計総額 248 億 7400 万円 (前年度比 13.1%増)

歳入の状況



歳出の状況



総額	248 億 7400 万円
地方交付税	60 億円
市税	46 億 158 万 2 千円
市債	41 億 2000 万円
国庫支出金	35 億 6550 万 8 千円
県支出金	26 億 7839 万円
繰入金	15 億 3022 万 9 千円
地方消費税交付金	8 億 600 万円
その他	15 億 7229 万 1 千円

総額	248 億 7400 万円
民生費	94 億 8027 万 3 千円
総務費	54 億 2263 万円
公債費	19 億 7144 万 3 千円
衛生費	18 億 2366 万 1 千円
農林水産業費	16 億 4009 万 6 千円
教育費	15 億 5514 万 7 千円
土木費	14 億 4800 万 3 千円
消防費	6 億 7242 万 2 千円
商工費	6 億 566 万 6 千円
その他	2 億 5465 万 9 千円

■市民一人当りに使われる「予算額」 54万 8066円

市民一人当りに使われる金額がいくらになるか、主な費目ごとに表しています。

民生費 20万 8885円

障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護などに必要なお金



総務費 11万 9480円

市の管理事務や企画、統計事務などに必要なお金



公債費 4万 3438円

公共施設整備などのために借りた市債の償還に必要なお金



衛生費 4万 182円

健康増進、母子保健、廃棄物処理、公害対策などに必要なお金



農林水産業費 3万 6137円

農林水産業の振興に必要なお金



教育費 3万 4265円

学校教育・社会教育の振興、文化財保護、文化・スポーツの振興などに必要なお金



土木費 3万 1904円

道路、公園、市営住宅の整備・管理などに必要なお金



消防費 1万 4815円

消防や防災事業など、市民の安全のために必要なお金



商工費 1万 3345円

観光事業や商工業の振興、物産流通に必要なお金



■「市税」と「市債」の市民一人当たり・一世帯当たりの負担額

市税・市債	一人当たり	一世帯当たり
市税の負担額	8万 7770円	20万 3694円
市債の負担額	51万 3124円	119万 844円

※平成 30 年 4 月 1 日現在の人口と世帯数（人口 4 万 5385 人、世帯数 1 万 9556 世帯）で算出

※市税は、個人市民税、固定資産税（交付金納付金は除く）、軽自動車税、都市計画税の予算額の合計で、滞納繰越分を除いて算出。市債は平成 30 年度末残高見込額で算出

平成 30 年度 特別会計総額 77 億 3780 万円（前年度比 16.3%減）

特別会計は特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合に、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けた会計です。

会計別	予算額
国民健康保険事業	69 億 9865 万 2 千円
温泉給湯事業	1 億 3215 万円
後期高齢者医療	6 億 699 万 6 千円

平成 30 年度の主な事業

新 = 新規事業

「市民目線に立った、オンリーワンの島原市」を目指す主な事業を7つの施策ごとに説明します。

市民目線に立った行財政改革の推進

- ◎新庁舎整備事業 27億 4475万円
防災拠点としての機能を強化し、ユニバーサルデザインを取り入れた新庁舎の整備を行います。
- ◎ふるさとしまばら寄附金事業 3億 391万円
- ◎市勢振興計画策定事業 **新** 566万円



新庁舎イメージ（南東側）

高齢者や障害者などを思いやる福祉の充実

- ◎健康増進事業 1526万円
健康づくりの講座や健康相談を実施するとともに、関係団体等との連携により地域ぐるみで市民の健康づくりを推進します。
- ◎高齢者福祉交通機関利用助成事業 2607万円
- ◎障害者自立支援給付事業 16億 2185万円

島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

- ◎放課後子ども教室推進事業 313万円
子どもの居場所づくりや学力向上、子育てしやすいまちづくりを目指します。
- ◎小中学校学力向上対策事業 557万円
- ◎地域おこし協力隊文化財活用事業 **新** 600万円



放課後子ども教室



産業の振興と島原地域ブランドの確立

- ◎商店街活性化事業 **新** 180万円
「空き店舗バンク制度」を創設して商店街の空き店舗所有者と出店希望者のマッチング支援を行い、出店にかかる初期費用の一部を補助します。
- ◎産地パワーアップ事業 6億 6000万円
- ◎畜産クラスター構築事業 1億 5662万円

歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

- ◎島原城整備事業 **新** 4550万円
平成 36 年に築城 400 周年を迎えることから、展示資料の保存状況の改善や入館者へのサービス向上を図るため、天守閣に空調設備を整備します。
- ◎島原めぐり事業 **新** 1350万円
- ◎島原藩主深溝松平家墓所調査事業 675万円



島原城

安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

- ◎移住促進・島原暮らしプロモーション事業 843万円
移住のワンストップ窓口において、戦略的な情報発信と移住希望者をサポートし、移住を促進します。
- ◎船津地区高潮対策事業 1億 6621万円
- ◎霊南山ノ神線整備事業 1億 2672万円



整備中の霊南山ノ神線

子育てにやさしいまちづくり

- ◎産後ケア事業 **新** 532万円
出産直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートなどを行います。
- ◎しまばら結婚サポート事業 661万円
- ◎福祉医療費（乳幼児など） 1億 1369万円

※「平成 30 年度当初予算概要」および「主要事業説明書」など詳しくは、市ホームページをご覧ください

島原市予算

検索

▶問い合わせ先

総務課財政班（☎ 63-1111 内線 152）